

(4) 壁 率

$${}_i a_w \geq Z \cdot W \cdot A_i \cdot \beta / (2.5 \cdot S_i) \quad (9.1.1)$$

${}_i a_w$: 各階各方向の壁率 (mm²/m²)

S_i : 壁率算定用床面積. 上階にバルコニーや外部廊下, 連続的に長く設けられた庇等がある場合は, その面積の1/2以上を加算 (m²)

β : 使用するコンクリートの設計基準強度による低減係数

$$\beta = \sqrt{18/F_c} \quad \text{ただし } \beta \geq 1/\sqrt{2}$$

F_c : 設計基準強度 (N/mm²)

(5) 壁 量

$$L_w \geq \alpha \cdot \beta \cdot Z \cdot L_{wo} \quad \text{かつ} \quad L_w \geq L_{wm} \quad (9.1.2)$$

L_w : 各階各方向の壁量 (mm/m²)

L_{wo} : 標準壁量 (表 9.1.2 による)

α : 耐力壁の厚さ t が表 9.1.1 の最小壁厚 t_0 より大きい場合の低減係数

$$\alpha = \frac{t_0 \times \sum \text{各耐力壁の実長}}{\sum (t \times \text{各耐力壁の実長})}$$

L_{wm} : 壁量の最小値 (表 9.1.2 による)

表 9.1.2 標準壁量および壁量の最小値 (mm/m²)

最上階から数えた階	標準壁量 (L_{wo})	壁量の最小値 (L_{wm})
地 上 階	1	120*
	2	120*
	3	120*
	4	150*
	5	150*
地 下 階	200*	150

* H 13 国告 1026 に同じ.

耐力壁の小開口が図 9.1.1 の条件を満たし, かつ 9.1.2, C 項の補強を行った場合は, 壁量の算定において小開口を無視してよい.